

あわら 市議会だより



第81号

令和6年8月15日 発行



／ 広報アンケート実施中!!

詳しくは最終ページ右下



Pick Up

11p 議員と語ろう会 開催レポート

12p 特集「議会の意味を問い直す」

定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	4-9p
議決結果	9p
表彰・討論・意見書・次期会期日程	10p
議員と語ろう会 開催レポート	11p
特集「議会の意味を問い直す」	12p



議会の様子が YouTubeで視聴できます。

あわら市議会 YouTube

検索

令和6年6月定例会を 開催しました

6.3 » 6.25

6月3日から23日間にわたって、6月定例会を開催しました。

定例会では、令和6年度一般会計補正予算など議案8件のほか、請願2件を審議しました。6月14日、17日には11人の議員が一般質問を行いました。6月25日の本会議では、常任委員会での審査結果が報告され、採決の結果、賛成全員または賛成多数ですべての議案が可決されました。なお、陳情2件は、賛成少数で不採択となりました。

6月定例会の流れ



主な議案をチェック

令和6年度補正予算

一般会計と企業会計で総額4億6,451万8千円を増額し、予算総額は230億1,449万7千円に。

主に、中学校体育館に空調設備を設置するための調査・設計費や、魅力ある宿泊施設に改修するための補助費などの予算が計上されています。

提出された補正予算案は、委員会での調査を経て、6月25日の本会議で採決を行い、いずれも原案のとおり可決されました。

教育長の任命に同意

6月3日の本会議で、教育長に甲斐和浩氏^{かい かずひろ}を任命する議案が上程され、賛成全員で任命に同意しました。甲斐氏は令和3年6月5日から令和6年6月4日にわたって教育長を務められました。今回の同意を受け、令和6年6月5日から改めて3年間の任期を務められます。



▲議場で挨拶をする甲斐教育長

令和6年度補正予算

総額4億6,451万8千円を増額

中学校体育館 空調設備調査設計業務

990万円

芦原中学校と金津中学校の体育館に空調設備を導入するための基礎調査や実施設計を行います。

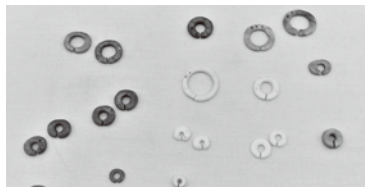


▲空調設置予定の中学校体育館

桑野遺跡出土品 PR業務

500万円

国指定重要文化財であるけつ状耳飾りなど桑野遺跡出土品の魅力や歴史的価値を市内外に広く発信します。



▲クラウドファンディングで資金を集めて製作したけつ状耳飾のレプリカ

地域防災力 向上支援事業

300万円

自主防災組織が取り組んでいる防災資機材の整備や避難訓練などに要する費用の補助を行います。



▲整備した防災資機材

常任委員会

予算決算常任委員会

令和6年度

一般会計補正予算

■総務課

地域の防災力向上

委員 防災資機材の使用
方法に関する指導などは
徹底しているのか。

理事者 区に出向いて出
前講座を実施するなど、
防災力向上に努め、自
助と共助が強化されるよ
うサポートしていきます。
防災資機材の使用方法
も説明していきます。

■市民協働課

コミュニティ助成事業

委員 事業の効果をどの
ように確認しているのか。
理事者 実績報告書で状
況を把握するほか、事業
を実施する一般財団法人
自治総合センターの調査

に合わせて数年後の経過
も確認していきます。

地方就職支援金

委員 東京圏内の大学に
支援金があることをどの
ように周知するのか。

理事者 国がチラシやポ
スター等を作っています。
また、市のホームページ
でも公表し、周知を図り
ます。

■子育て支援課

こども園の

性被害防止対策

委員 10園ある私立認定
こども園のうち6園分の
予算のみ計上されている
のはなぜか。

理事者 補助を希望した
園が6園だったため、
今後希望があれば補助し
ていきます。なお、1園
はすでに安全対策用の力
メラを設置しています。

■建設課

十日・嫁威線

消雪井戸改修工事

委員 井戸に十分な湧水
があることを確認したう
えで改修工事を実施する
のか。

理事者 令和5年度に力
メラによる調査を実施し
ており、十分な湧水があ
ることを確認のうえで、
ポンプの取替えなどを行
い消雪機能の改善を図り
ます。

■観光振興課

観月のタベ

委員 イベントの来場者数
をどれくらい見込んでい
るのか。

理事者 約2万5千人を
想定しています。
委員 令和6年度をもつ
て観月のタベが終了する
と説明があったが、新し
いイベントを企画する場

合には、地元を中心とし
た実行委員会が主体と
なり地域活性化に繋げて
ほしい。

■教育総務課

中学校体育館の

空調設備

委員 断熱化工事によつ
て冷房機能だけでなく暖
房機能も向上するのか。

理事者 断熱化により暖
房機能の向上にも一定の
効果がありますが、基礎
調査の結果とトータルコ
ストとのバランスを見な
がら、全体的な整備内
容を決定していきます。

■農林水産課

既存農業者への支援

委員 新規就農支援に対
する補助だけでなく、既
存農業者が世代間で承
継できるように補助を検
討できないか。
理事者 既存農業者に対

する支援についても協議
していきます。

令和6年度公共下水 道事業会計補正予算

■上下水道課

污水管渠布設

実施設計

委員 菅野区と矢地区の
下水道の整備にあたって
受益者負担金の理解を
地元から得ているのか。
理事者 受益者負担金の
説明は今後行っていく予
定です。

総務厚生常任委員会

あわら市印鑑の登 録及び証明に関す る条例の一部を改 正する条例の制定

行政手続における特定
の個人を識別するための
番号の利用等に関する法

律の一部改正に伴い、引
用する条項を改めるため
所要の改正を行うもの
です。

あわら市行政手続
における特定の個
人を識別するため
の番号の利用等
に関する法律に基
づく個人番号の
利用及び特定
個人情報情報の
提供に関する
条例の一部を
改正する
条例の制定

行政手続における特定
の個人を識別するための
番号の利用等に関する法
律等の一部改正に伴い、
引用している条文につ
いて所要の改正を行う
ものです。



・あわら市シルバー人材センターの

現状と課題について

・あわら市の水田農業の

振興について

あわら市シルバー人材センターの現状と課題について

ターの果たすべき役割と市民への恩恵について市長の考えは。

木下 シルバー人材セン

ターの会員向けの研修会の開催頻度は。また、会員増加に向けた取り組みは。

経済産業部長 安全講習

会を年5回開催し、就業時の事故減少に努めるほか、技能講習会も実施しています。また、会員を増やすため、広報活動を行うほか、入会説明会を毎月開催しています。会

員の減少と高齢化によって受注機会が失われないよう、新規事業の開拓のほか、会員募集の取組によって会員の輪を広げてほしいと思います。

木下 シルバー人材セン

市長 シルバー人材セン

ターは、会員の生活と社会参加による生きがいづくり、市の活性化に大きく貢献していると考えています。そのため、令和6年度の市補助金を約50万円増額したほか、仕事の発注を含め、これまで同様に支援を続けていきたいと考えています。

あわら市の水田農業の振興について

木下 持続可能な水田

農業をどのように推進するの。

経済産業部長 農業支援

制度の充実、技術革新とデジタル化の推進、農業の多様化と付加価値の

木下 勇二 議員



向上、若手農業者の育成と農業の魅力向上を図り、国や県、関係団体と協議しながら新たな支援制度やプロモーション活動を検討していきます。

市長 農業関係者や担

当課との協議のなかで、農業には様々な課題があることの認識を深めています。福井県やJ-Aなどの関係団体と協議を重ねて、多くの課題を対話によって解決し、より良い農業・農村、地域農業を目指していきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・あわら市の重要課題

「人口減少」について

・あわら市教育委員会危機管理

マニュアルの作成と実施について

あわら市の重要課題「人口減少」について

八木 人口減少対策へ

向けた取り組みと進捗状況は。

市長 令和6年度の当

初予算では、こども家庭センターを設置し、妊産婦と子育て世帯への相談支援体制を整えたほか、アンダー29夫婦支援金を継続するなど、人口減少対策の充実に努めています。このほか、令和5年度から人口減少対策チームを立ち上げ、課題の解決に取り組んでいます。

八木 スポーツ交流によって移住につながる事例が注目されている。学

校では常に様々な事案に対する備えを行い、学校管理下で災害や事件等が発生したときの児童・生徒の安全を第一に確保する体制を整えています。

八木 秀雄 議員



生合宿の補助対象者を高校生以上から小学生以上に拡充し、かつ引率する指導者や父兄も対象とすることで、あわら市に移住するきっかけになると考えるがどうか。

市長 県や関係機関と

の連携を考えるほか、先進事例の調査研究などもしっかりしていきます。

あわら市教育委員会危機管理マニュアルの作成と実施について

八木 危機管理マニユ

アルは作成しているか。また、災害時にどのような対応をとるの。

教育長 すべての小中

学校で危機管理マニュアルを作成しています。各



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・空き家対策の充実強化について ・中学校屋内運動場(体育館)の 空調整備事業について

空き家対策の充実強化について

島田 増加し続ける空き家について、あわらし市

もこれまで、各種施策を実施してきたが、国は法律を改正して「管理不全空家」の認定や指導勧告、「管理活用支援法人」の活用などの新しい強化策を打ち出した。あわらし市はこれらの新施策にどう取り組むのか。

創造戦略部長 国のガイドラインに基づき、福井県空き家対策協議会において、県と市町等で協議を重ね、市の方針を定めていきます。空き家による市民の生活環境への悪影響を抑制するため、これまでの施策に加え、新しい施策を効果的に講じていきます。

中学校屋内運動場(体育館)の空調整備事業について

島田 令和6年3月定例会の一般質問では、中学校体育館の空調整備を前倒しで実施すべきだと提案したが、整備のため

の国の有利な補助金や地方債を活用できるのは、令和7年度までとなっている。補助金などを活用するのであれば、残された時間は少ないが、市長はどう考えるか。

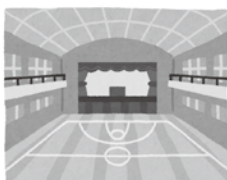
市長 能登半島地震の経験からも指定避難所としての体育館の重要性を強く認識しました。そのため、財源面やスケジュール面から検討した結果、令和7年度の事業完了を目指し、中学校体育館の空調整備を進め

島田 俊哉 議員



ることを決断しました。

島田 避難所は被災した市民が耐え忍んで生活を送る場所ではなく、被災の悲しみや苦しみを乗り越え、復旧復興に向け前向きな気持ちになれるよう快適で元氣が出る場所であるべきだ。今回の市長の決断に敬意を表する。今後も更なる避難所の質の向上を願う。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・こども・子育て政策について ・木造住宅耐震化促進事業について ・学校施設の維持管理について

こども・子育て政策について

堀田 こども計画をいつ策定するのか。また、あ

わらし市独自の子育て支援策を打ち出していくべきでは。

市長 子育て環境を一年でも早く、さらに良いものにするため、令和6年度中の策定を考えています。独自の支援策を検討しつつ、まずは既存の施策を充実させていくことが重要だと考えています。

堀田 こども・子育て支援事業債を活用し、公共施設の子育て支援の機能強化を図ってはどうか。

と考えています。また、こども園などの子育て支援施設でも、事業債を活用した環境整備を図ってきたいと考えています。

木造住宅耐震化促進事業について

堀田 耐震診断の申込件数と、市内の木造住宅

耐震診断士の人数は。また、診断士が耐震診断を行い、補強プラン作成までの過程は。

土木部長 耐震診断の申請件数は、令和6年度は74件で、令和4年度と比較し25倍となっています。市内在住の診断士は17名おり、調査を実施してから補強プラン作成まで長くて2か月程度かかり、需要も多いため今回申し込みのあったすべてを令和6年度中に診断

することは大変厳しい状況です。

堀田 あけみ 議員



学校施設の維持管理について

堀田 学校施設の維持管理を徹底するよう文部科学省から通知が出ているが、どのように対応しているのか。

教育部長 普段から定期的に点検を行っていますが、通知が届いた際には、速やかに学校に通知して注意喚起をするほか、担当職員や専門業者による点検や調査を実施しています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・官民連携事業について

官民連携事業について

青柳 これまでの成功事例と直面した課題、今後の具体的な計画や目標は。

創造戦略部長 連携企業が行ったセキュリティ講習会で知識を学んだことで、スマホ・タブレットよる相談所にお越しいただいた市民に安心感をもってスマホを使ってもらうことが出来ました。これらの取り組みでは、民間企業のイメージアップは図られますが、利益には直結しないケースも多く、今後も継続できるかが課題です。持続可能な形で解決を模索し、企業のノウハウ等を取り入れた課題解決に取り組んでいきます。

青柳 PPP事業について、駅前児童公園の整備計画はどのようなか。

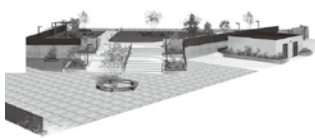
副市長 公園については、地元住民との意見交換を重ね、再整備を進めています。公園の再整備にあたって、公園の質の向上やにぎわいの創出、管理コストの縮減を図るため、地元と協議しながら、官民連携の手法を取り入れるなどして事業を進めていきます。

青柳 PPPやPark・PFI事業は、民間企業の参画が鍵となる。民間企業との連携は、新しい役割を持つ施設や企業の進出を促し、コスト削減とにぎわい創出のチャンスを増やすことに繋がる。特に、地域の活性化と住民生活の向上を目指すためには、民間

青柳 篤始 議員



の力を借りることが不可欠だ。民間の資源やアイデアを最大限に活用することで、これまで以上に効果的な課題解決が可能となる。未来を切り開くために、あらゆる手段を排除せずに取り組んでいただきたい。官民が協力することで、持続可能な発展を目指しましょう。



▲駅前児童公園の整備イメージ



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・子どもが「意見を表明し、参加できる」とへの取り組みについて

北潟湖での内水面漁業の振興について

こどもが「意見を表明し、参加できること」への取り組みについて

北浦 平成28年6月から18歳選挙権時代となり、令和4年4月からは18歳成人時代が始まった。18歳になるまでに主権者意識、市民意識を育むため、地域の一員である18歳未満のこどもたちが意見を表明し、参加できる仕組みをどのようににつくっていくのか。

市長 18歳以上を対象に毎年実施している市民アンケートなどを15歳以上に引き下げることや、様々な計画策定で実施するワークショップに参加してもらったことなど、こどもの意見を聞く手段を検討していきます。そ

して、これらの取り組みがしっかりと伝わるよう情報発信を進めていきます。

北浦 全天候型の遊び場のネーミングや好きな遊具の選定などに、こどもたちの意見をどのようにに反映させるのか。

健康福祉部長 好きな遊具等の調査項目や手法、時期等を検討しており、ネーミングもこどもたちから募集することも検討していきます。

北潟湖での内水面漁業の振興について

北浦 漁業者の後継者育成のため、市独自で網など漁具の購入支援はできないのか。

経済産業部長 周辺自治体などを調査し、漁業関係者と協議を行い、検討していきます。

北浦 博憲 議員



北浦 ウナギなど漁業資源の確保にもっと積極的に取り組むべきでは。

経済産業部長 さらなる支援は、国や県、漁業関係者とよく協議し、検討していきます。

北浦 内水面漁業と観光の連携を図るべきでは。

経済産業部長 連携によって、漁業の魅力や学びを提供することができ、さらにはあわら市のブランドづくりとしても発信することができるよう、検討を進めていきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・軟骨伝導イヤホンについて 子どもの権利に関する 条例について

軟骨伝導イヤホンについて

平野 公共施設に軟骨伝導イヤホンを導入する考えはないか。

総務部長 市の窓口に耳の聞こえにくい方が来庁された場合、タブレットの活用や筆談、耳元でお話するなど、それぞれの聞こえの状態に配慮して対応しています。今後、軟骨伝導イヤホンの活用なども念頭に置きながら、誰にとっても利用しやすい窓口サービスの向上に努めます。

子どもの権利に関する条例について

平野 子どもの権利条約について、市長の所見を伺う。

市長 子どもの権利条

約は、子どもは弱くて大人から守られる存在から、子どももひとりの人間として人権をもっているという考え方に大きく転換させた条約です。私を含め大人は、子どもの権利を守る役割があり、様々な政策を通じて権利を守る市政の実現に努めます。

平野 子どもの権利条例を制定する考えはないか。

市長 こども基本法に基づいた「あわらし市こども計画」を令和6年度に策定し、子どもの権利を守るために、目標や施策等を明記していきます。しっかり計画を策定し、子どもの権利条例についてはこども施策を推進していく過程で検討します。

平野 時夫 議員



平野 子どもの権利についての啓発や広報活動の状況は。

健康福祉部長 人権擁護委員会を中心に、小学校で人権教室を開くなどの啓発活動を行うほか、小中学校では人権教育推進計画を作成し、道徳や総合的な学習時間の中で子どもの権利に関する授業を実施しています。また、虐待を受けた子どもの保護や養育支援を目的に、要保護児童対策地域協議会を設置して、児童虐待防止や啓発を行っています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・短期集中予防サービスC型 事業の活用について 認知症高齢者の支援について

短期集中予防サービスC型事業の活用について

室谷 短期集中予防サービスC型事業とは。

健康福祉部理事 生活機能に低下がみられる要支援者などを対象に、保険、医療、介護の専門職が短期集中的に関わることで、社会参加や自分らしい生活の再構築を実現するための事業です。

室谷 この事業の課題と今後の計画は。

健康福祉部理事 課題は2つあり、1つ目が要支援者などをどのように事業へつなげられるか、2つ目が支援終了後にサービス利用者がセルフケアを継続することが困難となり、通所介護などの

介護保険サービスに移行してしまうケースが多いことです。

まずは利用者確保のため、毎年70歳、75歳を対象に心身の衰えがないかチェックしている基本チェックリスト該当者への働きかけや、ケアマネジャー、医療従事者などへの周知・啓発を行っていきます。また、支援終了後には、地区サロンや介護予防教室、各種サークル活動などへの参加につなげられるよう、継続できる仕組みを検討していきます。

認知症高齢者の支援について

室谷 どのような支援を考えているか。

市長 令和6年度からコデイネーターを中心

室谷 陽一郎 議員



に、地域を巻き込んで認知症高齢者を見守る「チームオレンジ」という仕組みを立ち上げます。これまで開催してきた脳活性化教室や介護予防教室などの充実を図りつつ、認知症ケアパスというガイドブックの活用などによって、認知症に対する正しい知識と理解が進むよう支援を着実に実施します。

室谷 高齢化率の上昇は市の大きな課題の一つとなるため、今後もしっかりと支援事業を推進してもらいたい。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・あわら市の各学校施設の整備状況について

あわら市の各学校施設の整備状況について

北島 市内全ての学校を網羅した改修計画はあるのか。

教育部長 あわら市学校施設長寿命化計画に基づき、令和12年度までの10年間の施設改修計画を令和3年度に作成しています。この計画は、校舎、体育館、グラウンドなど、改修から年月の経過したものを優先して整備していく計画となっています。

北島 今後の改修に必要な事業費はどれくらいか。また、計画どおりに改修は行われているのか。

教育部長 令和7年度

から令和12年度までの総事業費は約13億円を予定しています。計画は毎年見直しを行っており、社会情勢の変化に対応しながら改修を進めています。

北島 各学校の施設の状況は良好か。

教育部長 これまでに普通教室のすべてや特別教室の一部に空調設備の設置、トイレの洋式化や暖房付温水便座の設置、児童生徒の机・椅子の更新、中学校の全ての普通教室での電子黒板の設置など、学習環境の向上につながる整備を行っています。令和7年度には中学校体育館の空調整備を予定しており、現時点で各施設の状況は、学校教育に支障ありません。

から令和12年度までの総事業費は約13億円を予定しています。計画は毎年見直しを行っており、社会情勢の変化に対応しながら改修を進めています。

北島 登 議員



せん。しかし、毎年新たに修繕を要する箇所が出てくるため、限られた予算の中で、優先順位をつけながらしっかりと対応していきます。

北島 学校施設整備基金の毎年の積立額を増額する考えはないか。

教育部長 この基金は、小中学校の施設整備の財源に充てるため、毎年1千万円を積み立てています。毎年の積立額の増額は、今後の財政状況を見ながら財政部局と協議していきます。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・デマンドタクシーの拡充を教育費の保護者負担軽減を

デマンドタクシーの拡充を

山川 バスやタクシーの運転手不足により、今秋から路線が削減されるとの報道がされている。あわら市への影響はどうか。

市民生活部長 市内の路線バスの運行を担っている京福バスは6月1日から福井市の路線を中心に減便を行いました。現在、あわら市への影響はありませんが、10月にも減便を検討しているとのことですので、市への影響が生じるかどうか注視していきます。

市長 近隣自治体間で、デマンドタクシーが相互乗り入れできるようにすることが早急に必要ではないか。

市長 加賀市の乗り合

いタクシーは、運行ルートや乗車時間が決まっているセミオンデマンド型であり、交通事業者が異なるなどの課題があります。一方、坂井市は、あわら市の乗り合いタクシーに近いオンデマンド型であり、交通事業者も共通しているため、広域連携に向けた課題は少なく、今年度中に連携を図り、利便性を向上させたいと考えています。

教育費の保護者負担軽減を

山川 憲法26条は、「義務教育は無償とする」と定めているが、実際は様々な名目で保護者から費用が徴収されている。貧富の差にかかわらず、すべての子どもが平等に教育を受けられる

ようにするとともに、子育て支援のためにも、保護者負担はなるべく軽減できると考える。小中学校において、教育費徴収の実態はどうなっているか。

教育部長 保護者からいただく費用は、小学校低学年で月平均5千円、高学年で7千円、中学生で1万円ほどとなっています。負担が過度とならないよう、教育委員会から学校に要請していくとともに、経済的負担が困難な家庭には就学援助制度を活用して、負担軽減を図っていきたいと考えています。

山川 知一郎 議員



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・投票率向上と市政を担う 人材育成について

投票率向上と市政を担う人材育成について

三上 あわら市の選挙における投票率の変遷は。

総務部長 市議会議員選挙も市長選挙も投票率は年々減少しています。
三上 これまでの投票率向上に向けた取り組みと今後の課題は。

総務部長 県選挙管理委員会と連携して選挙出前塾を開催するなど、主権者教育に取り組んでいます。また、情報発信や投票環境の向上にも努めています。今後の課題は、有権者、特に若い世代に市政に興味を持ってもらうことです。そのため、SNSなどのツールを活用し、本市が抱える課題や現在取り組んでいる事業などの情報を市民に広く分かり

やすく発信していきます。
三上 市民が市政に興味を持つためにはどのような施策が必要と考えるか。

市長 一つ目は情報発信の強化です。令和5年度からLINEを用いた情報発信を開始しましたが、今後は、若手職員の発想を取り入れ、民間の広報戦略アドバイザーの知見を生かしながら、情報発信の強化に努めていきます。二つ目は市民の市政に参加する機会の拡充です。市長ふれあいトーク、市政懇談会などをさらに周知、拡充したいと思っています。また、若者の意見に耳を傾け、膝を突き合わせた議論の場を設けるとともに、中高生とのワークショップなどを検討し、できることから着実に取り組んでいきます。

三上 将来の市政を担

う人材を育成するためには何が大切だろうか。

市長 市の現状と課題を知ってもらい、市民一人ひとりがまちづくりの主体となり、自分事としてまちに関わる意識を醸成し、実際に市政に参加してもらおう、という段階を踏んだ取組が重要ではないかと考えます。

三上 他市町には投票率の下がっていない事例もあり、そこでは市民の政治参画に向けた施策が行われている。しっかりと事例研究と議論し、これからも継続的に活気のあるまちであり続けるような政策をぜひ一緒に実現しましょう。

三上 寛了 議員



▲一般質問の様子を
YouTubeでチェック

第122回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

区分	議案番号	○…賛成 ×…反対 退…退席 除…除斥 欠…欠席 ※議長は採決に加わらないので「/」で表示	議決結果	表決		議員名															
				賛成	反対	三上 寛了	青柳 篤始	島田 俊哉	木下 勇二	北浦 博憲	堀田 あけみ	室谷 陽一郎	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	山田 重喜	八木 秀雄	笹原 幸信	山川 知一郎	北島 登	卯目 ひろみ
市長提出議案	44	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度あわら市一般会計補正予算(第2号))	承認	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	欠	○	○
	45	令和6年度あわら市一般会計補正予算(第3号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	46	令和6年度あわら市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	47	令和6年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	48	あわら市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	49	あわら市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
請願	50	あわら市教育委員会教育長の任命について	同意	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	欠	○	○
	51	令和6年度あわら市一般会計補正予算(第4号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
	1	訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書	不採択	1	14	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	○	×	×
発議	2	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書の提出を求める請願	不採択	2	13	○	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	○	×	×
	3	食料・農業・地域政策の推進に関する意見書	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○

在職20年・10年以上表彰

5月22日の第100回全国市議会議長会定期総会において、北島 登議員(右)が市議会議員在職20年以上の表彰、毛利 純雄議長(左)が市議会議員在職10年以上の表彰を受けました。

また、4月23日の第99回北信越市議会議長会定期総会においても、同議員が20年以上表彰と10年以上表彰を受けました。



感謝状

5月22日の第100回全国市議会議長会定期総会において、山田 重喜議員(右)と毛利 純雄議長(左)が会務運営の重責を務められたことに對し、感謝状が贈られました。



議案の討論

ある議案に対して、賛成か反対かの意見を述べることを「討論」といいます。

ここでは、定例会で討論が交わされた主な議案を紹介します。

●請願第1号

訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願書

(採決の結果、不採択となりました)

訪問介護は要介護者やその家族の在宅生活を支える上で欠かせないが、訪問介護費の引き下げによって在宅介護の基盤が壊滅になるおそれがある。あわせて、人材確保が困難になるばかりだ。

賛成討論



▲詳細はYouTube

●請願第2号

刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書の提出を求める請願

(採決の結果、不採択となりました)

冤罪は国家による最大の人権侵害であり、速やかに救済されなければならない。刑事訴訟法の再審規定を改正して、冤罪を受けた人が守られるよう改める必要がある。

賛成討論



▲詳細はYouTube

意見書の提出

※地方自治法第99条において、地方公共団体の公益に関する意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。

●食料・農業・地域政策の推進に関する意見書

結果 可決

福井県農業協同組合、福井県坂井地区農政連、農政連あわら市支部から連名で「食料・農業・地域政策の推進に向けた要請」を受理しました。

あわら市議会では、要請内容について十分な協議を行い、国に意見書を提出することを賛成全員で決定しました。

意見書を通して、将来にわたる食料安全保障の確立が図られるよう、国に対して強く要請します。

9月定例会のお知らせ

主な会議の予定

8月19日(月)	議会運営委員会 全員協議会
27日(火)	本会議 初日 予算決算常任委員会
9月 5日(木)	本会議(一般質問)
6日(金)	本会議(一般質問)
9日(月)	総務厚生常任委員会
10日(火)/12日(木)	産業建設教育常任委員会
19日(木)	予算決算常任委員会 議会運営委員会
20日(金)	全員協議会 本会議
27日(金)/30日(月)	予算決算常任委員会分科会
10月1日(火)/2日(水)	
8日(火)	予算決算常任委員会 議会運営委員会
9日(水)	全員協議会 本会議 最終日



▲会議日程



会議の様子を配信しています

会議の様子を見ませんか？
パソコン、スマートフォン、タブレットから
市議会公式YouTubeにアクセスしてご覧ください。

▲公式 YouTube

第21回 議員と語ろう会 開催レポート

01 どんなことをしたの？

6月1日(土)に議員と語ろう会を開催しました！

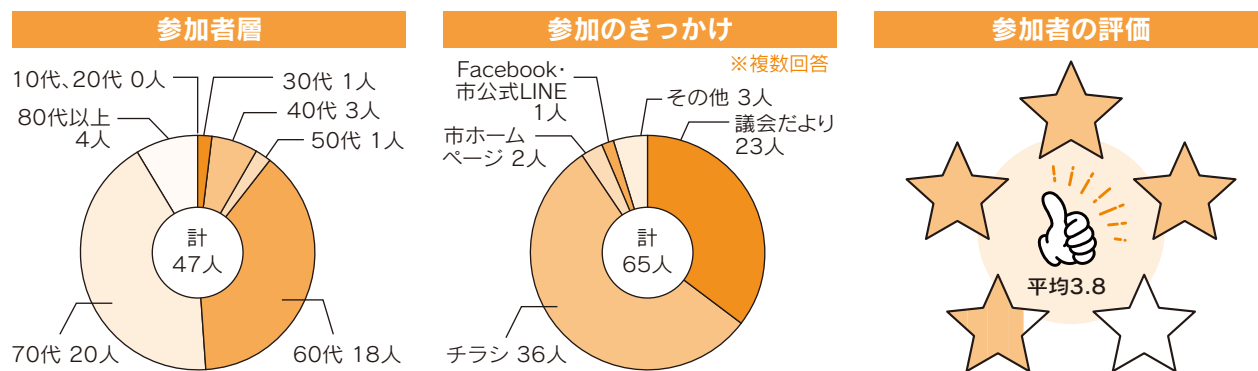
防災・地域づくり / 子育て・福祉 / 商工業・観光 / 農林水産という4つのテーマに分かれて、議員と参加者がテーマごとに意見交換しました。今回は小学校の体育館と公民館を会場に、47人の市民のみなさんにご参加いただきました。



02 参加者アンケート

参加者のみなさまに回答いただいたアンケート結果を集計！

前回のアフレアでの開催と比較すると、評価は0.3ポイント減少し★3.8に。一定の評価はいただけたものの、より実りある意見交換会になるように、会場や開催方法などを検討していきます。



03

参加者のみなさまのご意見

議員と身近に話せてよかった。

地域づくりのために皆で話し合うチャンスを作ってはどうか。

若い人の意見を聞き、市外に転出しないような魅力ある街づくりを考えられないか。

次回も同じようにワークショップ形式で開催してほしい。

あわら市全体で観光指針を進めるべきだ。

地震や津波などの災害に対する講習会をしてほしい。

新規就農者への補助金はあるが、農業を継承した場合の補助金はない。

開催回数を増やしてほしい。

議会だよりでは紙面が限られているため、特集記事を組むなどの工夫を。

議会モニター制度を導入するといいいのでは。

1つのテーマで話し合いができてよかった。

防災の担当職員数の充実や専門家による知識を得る仕組みが必要。

坂井市の病院やスーパーなどにも行けるように、乗合タクシーを広域化して欲しい。

給食のメニューが豊富で、給食が楽しいから学校へ行くという子どももいるため、給食の質が落ちないなら半額負担でもよい。



皆様のご意見は各委員会や一般質問で取り上げるなど真摯に受け止めます。

その他のご意見▶



01. ギカツ

正式名称
議会活性化特別委員会



目指す姿

- ・ 真の二元代表制の実現
- ・ 市民の意見を吸い上げる
- ・ 議会のあるべき姿の追求

議会の在り方を
共に見つけよう！



2023年
10・12月

金津地区・温泉地区区長会より
議員定数削減の陳情

2024年
4月

議会活性化特別委員会で議論スタート
※議員定数の議論をするために、
議会の在り方についても議論する必要あり

2024年
5～6月

グループに分かれて議論

2024年
7月

議会全体で議論



to be continued

ウェブサイトでの進捗共有

議会の意味を 問い直す

Questioning the
Role of Congress

議論のオンライン生配信

02. コウホウ

正式名称
広報編集特別委員会



目指す姿

- ・ 意見が届く開かれた議会
- ・ 知りたい情報が得られる
- ・ 議会が身近になる広報

2024年
5月

広報編集特別委員会で
広報を一から見直す議論スタート

2024年
6～7月

継続議論

2024年
8月

広報アンケート

to be continued

皆さまのご意見、
お待ちしております！



広報アンケートのお願い

皆様のご意見をもとに、より良い議会を目指すため、
アンケートを行います。ご協力をお願いします。



▲回答フォーム

市民に伝えるには、
どうしたらいいだろう？

